

# 公 民

## 1 学習指導と評価の改善・充実

～平成17年度高等学校教育課程実施状況調査の分析結果と指導上の改善点～

### (1) 調査の趣旨

本調査は、高等学校学習指導要領（平成11年告示）に基づく教育課程の実施状況について、学習指導要領における各教科、科目の目標や内容に照らした学習の実現状況の把握を通して調査研究し、今後の教育課程の改善等に資するために実施された。

### (2) 調査の概要

ア 高等学校「倫理」、「政治・経済」について、全国の高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）のそれぞれ第3学年7,064人、11,120人を対象に実施した。

イ 「倫理」は全45問中10問が平成15年度調査と同一問題であった。「政治・経済」は全44問中15問が平成15年度調査と同一問題であった。

### (3) 調査結果の主な特色

倫 理	<p>自己の体験や自己の生きる課題と関連付けて考察させることに課題 社会生活における人間関係や社会における自己の生き方について思索を深めることが課題 生徒自身の主体的な課題追究を促すような教材の開発や指導方法の改善が課題 「倫理を勉強すれば、私の人格形成に役立つ」「社会の一員としてよりよい社会を考えることができるよう、倫理を勉強したい」など、倫理の勉強に関する意識について肯定的な回答は、前回調査より増加傾向</p>
政 治 ・ 経 済	<p>現代社会の諸課題を資料を活用して追究し、表現することに課題 基礎的・基本的な概念や理論についての理解が課題 「政治・経済の勉強は、入学試験や就職試験に関係なくても大切だ」「政治・経済を勉強すれば、私は、社会の一員としてよりよい社会を考えることができるようになる」など、政治・経済の勉強に関する意識について肯定的な回答は、前回調査より増加傾向</p>

### (4) 調査結果の主な特色を踏まえた指導上の改善点

倫 理	<p>青年期の意義と課題について、単に知識として習得させる指導に終わるのではなく、青年期にある自己の変化など自分自身の体験と重ね合わせて、具体的に自己理解を深め、自己形成を課題としてとらえさせていくような指導の工夫が必要である。 先哲の思想に関する学習においては、先哲の考え方を手掛かりとして、生徒が自らの課題について思索を深め、倫理的な見方や考え方を身に付けさせるよう指導する必要がある。 課題解決的な学習を取り入れた授業、観察や調査・見学、体験を取り入れた授業、調べたことを発表させる活動を取り入れた授業など生徒の実態を踏まえて、生徒自身の主体的な課題追究を促すような教材の開発や指導方法の改善が必要である。</p>
政 治 ・ 経 済	<p>生徒が基本的な概念や理論を活用したり、それらを用いて課題を追究したりすることができるように具体的な事例を通して指導することが大切である。 課題を追究する学習を通して、資料から有用な情報を読み取る力、それに基づいて考察し追究する力、その結果を分かりやすくまとめる力などを身に付けさせることが大切である。 新聞やインターネットなどの様々なメディアを活用して、時事的な話題を扱ったり、収集した情報を授業で活用することを通して、社会的事象に対する生徒の関心を高めるような授業の工夫・改善が必要である。</p>

## 2 「確かな学力」を育成する取組の改善・充実

調査結果を踏まえ、本手引においては、「確かな学力」を育成するため、「諸資料から有用な情報を取り出して活用することを通して主体的に課題を追究し、自分の考えを表現する学習指導の工夫」「自分の生き方と関連付けて考えさせる考查問題例」「生徒による授業評価を組み合わせた自己評価表例」「生徒の思考力や判断力を問う考查問題例」について具体的な事例を紹介する。

### 【現代社会】

諸資料から有用な情報を取り出して活用することを通して主体的に課題を追究し、自分の考えを表現する学習指導の工夫

#### 学習指導案

1	単元名	3 科学技術と生命（配当時間3時間）		
2	単元の指導計画	高度医療技術の進歩 1時間	脳死と臓器移植の問題 2時間	
3	本時の目標	(1) 脳死と臓器移植の問題について、諸資料をもとに自ら課題を設定させ、追究し考えたことについて発表させる。		
4	本時の展開	（3時間のうち3時間目）		
段階	指導内容	学習活動		評価の観点
		教師の活動	生徒の活動	
導入	本時の内容について	脳死や臓器移植に関するアンケートをもとに意見を発表させる。	意見表明	関心・意欲・態度
展開	・脳死に対する考え方について	・資料をもとに日本と欧米の宗教観の違いによる臓器移植に対する考え方の違いについて発問する。	・身近な人の死から連想する。 ・ワークシートに適語を記入する。	思考・判断
	・臓器移植にかかわる諸問題について	・臓器移植に関して、脳死患者の意思表示について発問する。 ・数名の生徒を指名して、自分の意見を発表させる【あなたは どう思いますか】についても同様に発表させる。	・臓器移植について、自分の考えをまとめてワークシートに記入する。 ・自分の意見と相手の意見を正確に述べる。それ以外の生徒は、自分の意見と比較する。	資料・活用の技能・表現
まとめ	本時のまとめ	脳死と臓器移植について整理させる。	ワークシートにまとめる。	

自分のクラスの生徒を対象に実施した脳死や臓器移植に関するアンケート結果をもとに、どのようなことが分かるか発表し合い、脳死や臓器移植にかかわる諸問題を自らの問題として関心を高めるよう配慮する。

臓器移植法の成立によって、人の死は従来の心停止と脳死の二つあることを説明し、流れ図を用いて、脳死の判定方法について理解させる。  
また、人の死に対する意見の相違については、ここでは深入りせず、自分の率直な意見を出せる雰囲気づくりに配慮する。

資料から、脳死や臓器移植の諸課題を考える糸口をつかむとともに、脳死や臓器移植に対する自分の考えと他者の考えとの違いを明確にし、自らの課題を設定する。また、課題を追究する上で必要な資料を集め、その中から必要な情報を整理し、自らの考えをまとめができるようにする。

#### 資料の作成及び分析

自分のクラスの生徒を対象に脳死や臓器移植に関するアンケートを実施し、そのデータをグラフ化し、自分のクラスにおいて、脳死や臓器移植に対する関心を高めるとともに、クラス全体の考え方の傾向を把握する。

番号	氏名	意見表明		意見表明			意見表明					
		脳死を「人の死」と認めるか否か	認める	認めない	自分が脳死になった時の臓器提供の意思	提供して	提供したくない	一部提供してもよい	あなたの大切な人の臓器提供の意思	提供させたい	提供させたくない	一部提供してもよい
1												
2												
合計		33	7	30	2	8	28	5	7			

自分のクラスの生徒を対象にしたアンケートをとることにより、脳死や臓器移植が自分にとって身近な問題としてとらえることができる。またアンケートの実施、集計、グラフ化などの資料の作成を通して、資料活用能力を高めることもできる。

(注)データのグラフ化については省略

## ワークシート 1

・平均寿命とは？

死亡年齢の平均値であり、0歳の  である。

昭和22(1947)年、男子50.06歳 女子53.96歳であったが、平成16(2004)年には

男子は  歳 に、女子は  歳 になった。

【考えてみよう1】男女とも半世紀間で急速にこの値が伸びたのはなぜだろうか？

・厚生労働省発表の平成16年人口動態統計月報年計(概数)の概況によると、平成16年の一年間に死亡した人の数は、102万8708人で、平成15年より1万3757人増加した。

・死因は一位が  (31.1%)、二位は  (15.5%) 三位は  (12.5%) の順となった。

・しかし、これらの病気も「早期発見」・「早期治療」によって治癒するといわれている。

・また、2004(平成16)年の1年間に、3万8125人ものが

で亡くなっている。

「6月 日、午後5時ころ 市××町の見通しのよい交差点で、運転のAは普通乗用車が道路を横断中の主婦Bさんをはねた。Bさんは意識不明の重体」

【考えてみよう2】このあと、病院に運ばれた主婦Bさんは、どのような処置がされると思いますか？

【考えてみよう3】上記のケースについて、それぞれの立場に立って考えてみよう。

平成16年7月26日に厚生労働省が平成16年の統計に基づく日本人の平均寿命を公表した。これによると日本人の平均寿命(平均余命)は女性が85.81歳で、男性が79.00歳と、ともに過去最高を更新した。1947(昭和22)年の数字と比較させ、なぜこれだけ急速に伸びたのかを考えさせる。

親族等の死に触れる可能性のある年代であることから、話題の展開には十分な配慮を必要である。また、これらの病気でも「早期発見」、「早期治療」によって治癒する可能性を話し、なぜ、そのようなことが言えるか考えさせる。

身近な人の死に触れる機会があっても、高校生にとっては、病気による「死」というものはあまり差し迫っているものではないため、自分の問題としてとらえにくい。そこで、10代後半から20代前半の死因の第一位の「不慮の事故」、特に交通事故を通して、医療の現場ではどのような医療行為が施されるかについて考えさせ、資料を提示しその分析を通して、さらにもどのような情報やデータが必要かを考えさせることで資料の活用能力を高めるとともに、資料から必要な情報を読み取る能力を養う。

## ワークシート 2

### 【あなたはどうか考える】

「自分自身が脳死状態になったときの臓器提供の意思は？」

第1段階：いままでの学習や自分の意思をもとに、次のテーマについて自分の考えをまとめさせる(5分程度)

テーマ「自分自身が脳死状態になったときの臓器提供の意思」  
(理由も書くように指示する。)

第2段階：次に相手の意見を聞いて、ノート(プリント)に書き込む(5分程度)  
〔約束事〕

- 1 自分の考え(理由は除く)をまず先に表明し、相手の意見を聞く。  
「私(僕)は  だと思うけど、あなたはどうですか」
- 2 自分の意見とは違うかもしれないが、決して批判しない。
- 3 相手の意見を聞き出す努力をする。

第3段階：聞く側と聞かれる側の立場を変える(5分程度)。

事前に脳死や臓器移植に関するアンケートを自分たちの学年やクラスの生徒を対象に実施し、集計したものをグラフ化する。資料を活用し、様々な意見を持っている仲間存在を認識し、脳死にかかわる諸問題を考えるきっかけとする。

自分の率直な気持ちが表せるように雰囲気づくりを配慮するとともに、パートナーを見つけれない生徒がいなくてもどうか気を配るとともに、生徒のプライバシーに配慮しながら進める。

【倫理】

「家族」を課題としたワークシートの例

年 組 番・氏名 \_\_\_\_\_

**設問** 以下の事例を読んで下の問に答えなさい。

妻Aさんと夫Bさんとの間には、4歳になる長男のC君と0歳の長女のDちゃんがあり、4人で一緒に暮らしていた。

Aさんは専業主婦であり、家族の生活を支えている夫のBさんは、仕事が忙しく、朝早くに会社に出て、家に帰ってくるのは子どもが寝た後という毎日、休日も、「疲れた。」と言って休んでおり、あまり家庭での生活に協力的でなかった。

Aさんは、仕事が忙しい夫から協力を得られず、また、身近に相談できる親族や友人もいなかったことから、子育てのことで悩むようになり、次第にノイローゼのような状態になってしまった。ひとりで悩みを抱えていたAさんの不安やイライラは、やがて、長男のC君に対して向かうようになり、C君に対して、ささいなことでも怒鳴ったり、叩いたりするようになった。実は、Aさん自身も、小さいころに、母親のEさんから厳しい体罰を受けたことがあり、子どもを叩くのは良くないと思っていたが、長男がいうことを聞かないと、思わず手を挙げてしまうという状況だった。

ある日、夫のBさんもC君の額のあざに気が付いて、Aさんに尋ねたところ、Aさんが、「公園で遊んでいたときに、転んで額を地面にぶつめた。」と言ったので、「転んだのに擦り傷がないのはおかしいな。」とも考えたが、それ以上特に気にはかけなかった。

1 この事例で、あなたが問題と思うことについて箇条書きにしなさい。  
・育児ノイローゼ、体罰、夫の非協力的等・・・。

2 下記の台本をもとにAさんになったつもりでロールプレイしよう。

**ロールプレイの台本**  
B：「俺は毎日家族のために、遅くまで働いているのでくたくたなんだよ。家の中のことはお前の仕事だろ、ちゃんとやれよ」  
A：「(例：私だって毎日一人で頑張っているのよ！家事に育児に大変なのよ。)」  
B：「昼間は、仕事で外に出てるんだから、普段の子育てぐらいちゃんとやれよ」  
A：「(例：子育てはひとりでするものではないでしょ。少しぐらい協力してよ。)」

3 現代の家族問題について、知っていること・関心をもったことを書きなさい。  
・なぜ、育児・子育てに関する事件が起こるのか関心がある。

4 家族にかかわる倫理的課題について追究したい課題を書きなさい。また、なぜその課題を追究したいのか、自己の課題とどのようにつながるのか、その理由を書きなさい。

追究したい課題	なぜ追究したいのか(自己の課題とのつながり)
育児・子育ての課題について	育児ノイローゼやネグレクトなど、育児・子育てに関する様々な問題が起こっているのがなぜか考えたかったから。

「ウ 現代の諸課題と倫理」では、「生命と環境」、「家族・地域社会と情報社会」、「世界の様々な文化の理解とは人類の福祉」の三つの群から一つずつ課題を選択して学ばせることとなっている。ここでは、「家族」を課題として選択した事例を紹介する。

「政治・経済」、家庭科との関連に配慮するとともに、生徒自身の主体的な課題追究を促すよう留意する。

事例の中から、現代の家族における夫婦関係や親子関係について考察させるとともに子育ての意義について認識を深めさせる。その際、男女の対等の在り方と相互の理解・尊重・協力の大切さについても理解させ、自らの将来の生き方について考えさせる。

5～6人のグループに分かれて、A・Bの役をグループ内全員で順々にを行い、グループごとに全体シェアリングを行うことで、事例の家族が抱えている問題を実感する。

4の課題追究につなげるように、事例を参考にして考えさせる。

現代の家族にかかわる倫理的課題について、自己の課題とつなげて具体的に追究する課題を設定させ、その理由を書かせる。

自分の生き方と関連付けて考えさせる 考查問題例

倫理の授業で、「人間の本性は善か、悪か」というテーマのもとにクラスの4人の代表が討論を行いました。この内容について、下の問いに答えなさい。

木村さん：僕は、そうは思わないな。もし、皆が皆悪人だったら、学校の先生やお医者さんや看護師さんに自分の子どもをあずけられないよ。現実の社会は人間が本来善だからこそ成り立っているって面があるでしょ。目の前で子どもが車にひかれそうになったら、誰だって助けようとするに決まっているじゃない。

佐藤さん：私は、最近の目をおおいたくなる凶悪犯罪のニュースを見ていると、人間の本性が善だなんて信じられないわ。世界各地では、戦争が絶えることはないしね。そもそも人間は弱い存在で、欲望のかたまりみたいなものですよ。悪いことをしたら、厳しい刑罰を科すべきよ。

鈴木さん：3人ともあんまりにも固定的な価値観や常識にとらわれすぎているわ。歴史をはるかかたまでさかのぼって見れば、善とか悪とか対立したものの見方など存在しなかった時代があったでしょ。ごさかしい人間の知を超えて、もっと自然の法則に任せるべきよ。そうすれば落ち着くべきところに落ち着くはずなんだから。

武田さん：木村さんは、人間の本性を善だと決めつけすぎているよ。人間って放っておいたら佐藤さんの言うように欲望のままにふるまって社会は混乱するし、人をねたんだり憎んだりする感情の動物だから、人を傷つけたりするんだよ。だからこそ教育や法律の制度をしっかりとっておく必要があると思うんだ。

人間の本性について、仮に性善説と性悪説のいずれかの立場で考えるとしたら、あなたの考えはどちらに近いですか。性善説なら1の番号を、性悪説なら2の番号を書きなさい。また、その立場を選んだ理由を、具体的な例を挙げて書きなさい。

平成17年度教育課程実施状況調査において、通過率(正答率)が設定通過率(予定正答率)を大幅に下回る傾向が見られた問題とほぼ同様の問題例である。

出題のねらい  
自己の人間観を振り返り、人間の本性について、具体的な事例をもとに考える。

解答例  
・性善説を選んだ場合  
乱暴な子どもでも、持っている優しい気持ちを見つけて育てていけば、立ち直ることが多いなど。  
・性悪説を選んだ場合  
乱暴な子どもでも学校のルールを守らせれば、規範意識が次第に身に付き、よい人間性がつくられることが多いなど。

【政治・経済】

生徒による授業評価を組み合わせた自己評価表例

自己評価表		年 組 番 氏名	
評価は4(たいへんよい)、3(よい)、2(あと少し)、1(もっと努力)の4段階で評価すること。 A～関心・意欲・態度、B～思考・判断、C～資料活用の技能・表現、D～知識・理解			
学習内容	観点	評価内容	評価
ガイダンス	A	本時の授業に当たって、教科書を読むなど予習をしてのぞむことができたか。	
	A	本時の目標がはっきりと明示され、目標を理解して学習にのぞむことができたか。	
	D	先進国と発展途上国との経済格差が拡大し、発展途上国間においても経済的格差があることについて、歴史的背景を把握しながら理解することができたか。	
	B	先進国の発展途上国への国際協力の在り方について、ODAを通じて具体的に考察することができたか。	
	D	先生の説明が分かりやすく、板書も整理されていたか。	
複数の資料を読み取る学習	C	複数の資料を用いて地域別ODAの実績を読み取り、答えを導き出すことができたか。	
ロールプレイング	A	本時の目標がはっきりと明示され、目標を理解して学習することができたか。	
	C	調べたことがらを他に分かりやすく説明することができたか。	
	B	他の発表を聞きながら自分なりの考えをもつことができたか。	
	A	他のグループの発表後、ODAについて新たに考えたことをまとめることができたか。	

大項目3において、ODAに関する課題追究学習を実施した場合の「ガイダンス」と、追究した内容による「ロールプレイング」の学習活動を例として取り上げる。

評価内容には、生徒の授業に取り組む姿勢を問うなど自己評価に重点を置く内容と教師の教え方を問う授業評価に重点を置く内容を配置するなどの工夫をする。

生徒には、単元の学習をより効果的に行うために、各学習活動ごとに生徒自身に学習の状況を振り返らせ、評価規準に照らして、自らの学習の到達状況を把握させることが大切である。  
また、教師は、生徒の学習状況を把握するとともに、学習の到達状況に応じて、次の授業計画や授業のポイントを見直すなど授業改善を図ることが重要である。

生徒の思考力や判断力を問う考查問題例

**設問** 次の文章を読んで設問に答えなさい。

一郎さんは夏休みを利用してアメリカへ旅行に行きました。出発前まで忙しく、日本の空港でやっと円をドルに両替することができました。そのときの交換比率は1ドル=110円でした。

帰国後、一郎さんは、外国為替相場の円とドルの交換比率と、アメリカ旅行中に買ったハンバーガー1個の価格と日本でのハンバーガー1個の価格を比較して求めた円とドルの交換比率とが異なることに気づきました。そこで、なぜ異なるのかを考え、ノートに次のようにまとめてみました。ノートの中のア、イに入る語句の組み合わせとして適切なものを、下の1～4の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

ノート

私がアメリカに出発するときの外国為替相場は1ドル=110円でした。そのとき日本とアメリカでは、同じハンバーガー1個の価格が、

アメリカ・・・3ドル50セント	
日本・・・420円	でした。

そこでハンバーガー1個の価格をもとにした交換比率は、

3ドル50セント=420円	となります。
---------------	--------

これを1ドルに換算すると、

1ドル=120円	ということになります。
----------	-------------

外国為替相場の決定には、物価変動などの経済の基礎的条件の影響も受けるはずです。アメリカと日本のハンバーガーの価格をもとにした場合、もし現在も1ドル=110円であれば、外国為替相場では1ドル当たりの円の価値が(ア)評価されていると考えられ、他の商品でも同様の状況が見られる場合には、円は、長期的には(イ)になっていくのではないかと考えられます。

(ア)	(イ)
1 10円分高く	円高
2 10円分高く	円安
3 10円分安く	円高
4 10円分安く	円安

出題のねらい  
外貨売買の場である外国為替市場では自国通貨と外貨に対する需給関係から為替相場が決定されていることを理解しているか。

解答について  
解答は2である。  
この単元では、經常収支や金利などが為替相場に影響を与え、国際間の巨額の資金移動が為替相場を大きく変動させること、そのことが各国経済に深刻な影響を与えていることに気付かせることが重要である。  
また、為替相場安定が国際的に重要な目標になっていることを理解させることも大切である。



# Topic

## 現代的課題への取組：模擬裁判

平成16年5月28日に公布された「裁判員の参加する刑事裁判に関する法律」により平成21年5月までの間に実施される裁判員制度を踏まえ、「政治・経済」の授業において札幌弁護士会（札幌弁護士会法教育協議会）と連携して行った模擬裁判の授業実践を紹介します。

日本の裁判制度の学習においては、日本国憲法の基本的性格と国会、内閣、裁判所などの政治機構を概観し、政治と法の機能、人権保障と法の支配、権利と義務の関係について理解させ、民主政治の本質や現代政治の特質について探究させるとともに、望ましい政治の在り方及び主権者としての参政の在り方について考察させることが重要です。

これらのことを踏まえ、本実践例では、住居侵入・窃盗未遂の模擬裁判の体験を通し、裁判のしくみや裁判員制度導入の意義を理解させるとともに、評議を通じて事実に対する客観的で公正な見方や考え方を養い、自分の意見を表明する力を育成することを主なねらいとしています。



### 指導計画

時間	学習内容	到達目標	評価の方法
1	模擬裁判のための事前学習 ・政治と法、裁判所の機能などについて調べ、ワークシートにまとめる。	法の機能、人権保障と法の支配について、理解することができたか。	ワークシート
2	模擬裁判ガイダンス ・模擬裁判の趣旨を説明し、模擬裁判における役割を決める。 ・役割分担 裁判官1名、検察官1名、弁護士1名、被告人1名 証人（被告人の妻）1名、証人（警備員）1名 裁判員はその他全員	裁判員制度を踏まえながら、模擬裁判の趣旨を理解することができたか。 他と協力しながら模擬裁判の準備を進めることができたか。	ワークシート
3	模擬裁判 ・配布されたシナリオに基づき模擬裁判を行う。 ・裁判員は、配布されたシナリオを読み、証拠と思われる部分に線を引き、裁判の内容をつかむ。	シナリオの内容と裁判所の役割や憲法、法の機能の概念を結び付けながら考察することができたか。 模擬裁判を通して実生活と司法のかかわりについて考察することができたか。	観察法 自己評価表
4	評議 ・札幌弁護士会弁護士の助言を受けながら、班ごとに評議を行い、考察したことを裁判員判決メモにまとめる。	評議を通じて事実を客観的に考察し、公正な見方や考え方をもちつことができたか。 評議を通じて考察したことについて、裁判員メモにまとめることができたか。	裁判員判決メモ
5	発表・質疑応答 ・評議において考察した内容について、班ごとに発表し質疑応答を行う。 講評 ・札幌弁護士会弁護士から講評を受ける。	発表者は自分の意見をまとめ、わかりやすく表現することができたか。 証拠や根拠を交流し互いの見方や考え方が異なることに気づくことができたか。 模擬裁判を通して、実生活と司法のかかわりについて、裁判員や自分の役割などから考え、裁判員制度について考察することができたか。	ワークシート 自己評価表

裁判員判決メモ  
3年 組 氏名

1 自分の判決 有罪・無罪

2 判決の理由

3 裁判員全体の判決 有罪・無罪

4 判決の理由

### 模擬裁判実施上の留意事項等

- ・政治と法や裁判所の機能についての概念や理論、模擬裁判の趣旨を理解させ、生徒が自ら役割を引き受けるよう促すこと。
- ・模擬裁判を単にシナリオ通り進めず、既習の憲法や法の概念及び裁判所の機能や現行の司法制度の課題について、役割に基づいて考察できるよう指導すること。
- ・評議においては、自己の考えを明確化し意見をまとめ、他者に分かりやすく表現できるよう、他者の意見を客観的に捉え、公正な見方や考え方を身に付けさせるよう配慮すること。
- ・評議においては、考えを交流することを目的とし、無理に集約しないよう配慮すること。